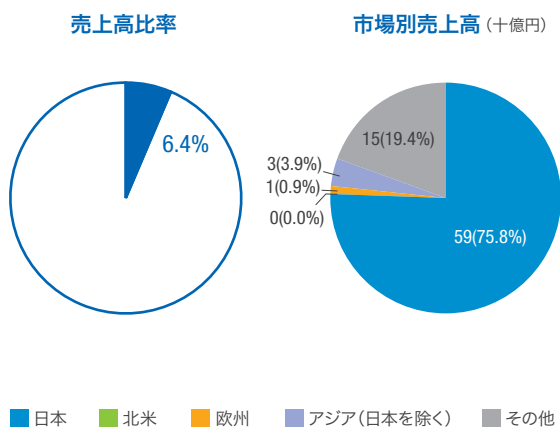


その他の事業

2012年のその他の事業の売上高は、前年比32億円(4.2%)増の783億円となり、売上高全体の6.4%を占めました。また、営業利益は同14億円(28.2%)減の36億円となりました。



セグメント変更前の2009年以前の数値は比較対象とならないため記載していません。

PAS事業

多様な顧客ニーズを捉えて安定成長

2012年の電動アシスト自転車の国内総需要は、前年の震災復興需要の反動により減少し、前年比8.6%減の38.6万台となりました。ただし、10月以降は前年を上回る実績で推移しています。

当社では、多様な顧客ニーズに対応した子乗せモデルやファッションモデルの投入と販促強化を図りましたが、総需要が減少傾向の中、完成車の国内出荷台数は前年より0.9%減の10.4万台、売上高は前年比1.6%減の153億円となりました。

2013年の電動アシスト自転車市場は、市場参入を加速する各メーカーの商品力強化策により安定した成長を確保し、国内総需要は前年比6.8%増の41.2万台を見込んでいます。当社では、新機能の付加による差別化を図り、2013年の完成車国内販売は、前年比7.0%増の11.1万台を計画しています。

自動車用エンジン事業

震災影響を受けた前年から増加

当社は、二輪車で培ったエンジン技術を活用し、国内外の自動車メーカーへ高性能自動車エンジンや、自動車用車体制振ダンパー「パフォーマンスダンパー」、自動車用サスペンション

その他の事業

「リアス」などの製品を供給しています。2012年は、東日本大震災およびタイ洪水の影響により自動車生産規模が縮小した前年から売上高が増加し、前年比6.5%増の288億円となりました。

2013年は、新中期経営計画の事業開発戦略をベースに高性能・高効率・環境対応の技術・商品の開発を加速し、事業規模拡大・収益力向上を目指していきます。

新しい成長分野の事業化を加速

当社では新中期経営計画のもと、新規事業戦略の一環で研究開発を加速してきた分野の事業化を推進しています。

2012年は、無人ヘリコプター事業での高精度制御技術と高性能エンジンの商品化および海外市場開拓に取り組みました。2013年は、無人ヘリコプターを扱っていた「スカイ事業推進部」を新たに「UMS※事業推進部」として再編し、陸上・海上における無人制御技術の商品化・事業化へと歩みを進めています。

※UMS: アンマンドシステム(無人システム)。

- スナップショット
- トップインタビュー
- 特集
- 事業の概況
- CSR情報
- 企業情報
- 財務セクション